

# バスケットボールプラザ

*Basketball Plaza*

*No.84*



2019年11月

NPO 法人 日本バスケットボール振興会

# 目 次

○ 秋季講演会・交流会開催	2
韓国KBSテレビ番組「韓国のクーベルタン 李想白」	
○ 男子ワールドカップの結果	5
男子日本代表は全敗で終わる	
○ FIBA女子アジアカップ2019 日本が4連覇	12
「AKATSUKI FIVE」女子日本代表 優勝	
○ 高校籠球ふるさと記（京都府編）	16
○ 日本バスケットボール殿堂の設立	普及部 20
○ シニアチーム紹介 岩手マスターズ	普及部 22
○ 会員だより	
アジアのバスケット好きな仲間たち	鈴木承二 25
その5：ワールドカップ2019観戦記	
○ Bリーグ情報	28
○ 第21回Wリーグ情報	30
○ JBAプレーコーリング・ガイドライン	32
○ 訃報・追悼文	37
○ 事務局だより	40
○ プラザ こぼればなし	41

# 秋季講演会・交流会開催

## 韓国KBSテレビ番組「韓国のクーベルタン 李想白」

[編集部]

恒例の秋季講演会と交流会が、11月7日、御茶ノ水池坊東京会館で開催された。当初講師に予定されていた兒玉JBA副会長が、怪我により不都合となったので、代わりに李想白氏を描いた韓国のテレビ番組のビデオ上映と、昭和12年に行われた東京商大と慶応大の試合のビデオ上映を行った。

かつて日本のバスケットボール界に多大な功績を残した李想白氏について、その概要を以下に報告する。

### 李想白氏プロフィール



- 1903年 韓国大邱市に生まれる
- 1923年 浅野延秋、中山克己、富田毅郎らと早大バスケットボール部を創部
- 1927年 早大文学部社会哲学科卒業
- 1930年 日本バスケットボール協会設立に参画、理事  
日本体育協会理事
- 1935年 日本体育協会専務理事
- 1936年 ベルリンオリンピック大会本部役員  
バスケットボールのオリンピック種目加入をI  
O Cに提案
- 1945年 韓国のI O C加盟に貢献
- 1956年 メルボルンオリンピック大会韓国代表団長
- 1964年 I O C委員
- 1966年 逝去 (62歳)

昭和56年(1981) 李想白氏の10周年忌にあたり、韓国バスケットボール協会などが李想白氏を偲び、その偉業を讃えるため、母校である早大バスケットボール部を招待し、延世大、高麗大、漢陽大の4チームでリーグ戦を行った。この追悼大会後、李想白氏のバスケットボール育成の情熱に鑑み、日韓両国のバスケットボール興隆と技術向上を願って、日韓両国学生選抜チームによる交流試合が行われることになり、毎年5月に「李相佰杯争奪日韓学生大会」が現在でも続けられている。

李想白氏の韓国名はイ・サンペクで、1920年日本に留学し早稲田大学へ入学、バスケットボール部の創立メンバーとなる。当時の日本におけるバスケットボールは未開のスポーツだった。

早稲田大学でバスケットボール部の主将となった李想白氏は名センターとして活躍し、卒業後1929年から1935年まで早稲田大学コーチとして手腕を発揮する。

その間、早稲田大学は全日本選手権大会で2回優勝するなど黄金時代を築き上げた。更には、同大学バスケット部のアメリカ遠征を24歳にして企画実現させた。2か月余りの間、アメリカ大陸を横断しながら行った当時の遠征はアメリカ国内でも大きな注目を浴びた。

その遠征の成果は大変なもので、日本の体育界は勿論のこと、一般の人々にも新鮮な衝撃となった。その後、日本のバスケットボールが飛躍的に発展する足掛かりともなった。

李想白氏 27 歳の時「指導籠球の理論と実際」という本を出版し、日本のバスケットボール指導者の第一人者となった。当時の日本にはバスケットボールの指導書はなく、李想白氏自身が写真を撮り、作戦を図解したこの本は出版されとすぐに大変な人気となりバスケットボール旋風を巻き起こした。



バスケットボール界第一人者になった李想白氏、今度は日本体育協会の理事に推挙される。その頃の日本体育協会理事は各界の著名人や上流層の人たちで占められていたが、若くして理事となった李想白氏は、ここでも幅広い知識と卓越した推進力によって国際的にバスケットボールを発展させることになる。

それまでオリンピックの種目になかったバスケットボールを、その競技種目に取り入れるべく奔走する。1932 年ロサンゼルスオリンピックに日本選手団の役員として参加した李想白氏は、アメリカバスケットボール界の象徴であったアーレン博士と出会い、バスケットボールをオリンピック競技種目にするよう協力を依頼した結果、1936 年のベルリンオリンピックから正式競技種目に採用されることになった。

その功績もあって、ベルリンオリンピックではバスケットボール審判として活躍の場を与えられ、オリンピック審判第 1 号になった。

その後、32 歳にして日本体育協会の専務理事となった李想白氏は、アジアで初めてとなるオリンピックを東京で開催するべく国際スポーツ界で奔走した結果、1940 年のオリンピックの東京誘致に成功する。

1937 年経済恐慌に陥った日本は、深刻な国内景気不安を打開しようと日中戦争を仕掛け、戦争の狂風は日本の体育会にも波及する。

1938 年それまでオリンピック開催準備をしてきた日本は、1940 年東京オリンピックを返上することになった。日本は当時、日中戦争を推進するべくスポーツに対する支援を中断し、国家の資金は戦争に集中するという声明を発表。

日本体育協会の機関紙から「オリンピック」の文字が消えて「体育日本」となり、機関紙に載る文も戦争賛意を促す内容のものが主になる。一般スポーツは禁止となり、戦闘性のあるスポーツだけが許可されて、スポーツは戦争の手段に使われるようになってしまった。



そんな中でも李想白氏は体育の現実を批判し、純粋なスポーツ精神の復活を文章や座談会などで訴え続けた。

1939 年李想白氏は日本体育協会の役員を全て辞し、早稲田大学特別研究員の立場で北京に渡り、海外の同志たちと連絡を取りながらスポーツの情報収集にあたった。

1945年8月日本は戦争に敗北し、植民地化していた朝鮮半島は日本から独立する。

李想白氏は韓国に戻って方々に散っていた体育人を集め、日本が強制的に解散させていた朝鮮体育会を再建しようと動き、朝鮮体育同志会を結成してその中心となる。

朝鮮体育会を再建した李想白氏は、その秋に全国総合競技大会を開催、戦後初のこの大会は日本の統治下から脱し、韓国の力で成し遂げた大会として感激も新たであった。

更に、李想白氏は、朝鮮オリンピック委員会を設立し、I O C委員であったブランデー氏と接触し、韓国がオリンピックに参加できるようI O Cに働きかけた。その結果、1947年のI O C総会で韓国のオリンピック参加が認められ、1948年のロンドン・オリンピックには韓国選手団が多くの種目に出場した。

国際オリンピックの舞台でも活躍した李想白氏は、その後、1964年にI O C委員に選出されているが、その後ろには驚くべきスポーツ外交の力があつたようだ。

若くして日本に留学した当時から、バスケットボールをはじめとする体育発展のために国際スポーツ社会に目を向け、常に研究と努力を怠らず国際スポーツ界に貢献された姿は、尊敬に値するであろう。

## 秋の交流会を開催

講演会終了後、同じ会場で開催された交流会には多数の方々が参加し、バスケットボールの情報交換やビデオに関する感想などを取り交わし、和やかな交流会となった。

### 大野会長挨拶



本日は多数の方々にお集まりいただき有難うございます。先ほど李想白氏に関するビデオを拝見しましたが、大変強になることもあったと思います。私たちはバスケットボールの歴史について、たまにはこうした勉強会があつてよいのではないかと考えます。

今日はバスケットの仲間同士で楽しく歓談したいと思いますので、よろしく願いいたします。



# 男子ワールドカップの結果

## 男子日本代表は全敗で終わる

[編集部]

8月31日から9月15日まで、中国で開催された男子ワールドカップに出場した日本代表は、予選ラウンド、敗者ラウンドで1勝も挙げる事ができず、惨敗に終わった。

世界のバスケットボールが進化する中、日本はもとよりアジアのバスケットが世界に後れを取っている現状が明らかになった大会でもあった。

大会前、日本で開催された国際強化試合で、ニュージーランドと1勝1敗、ドイツに逆転勝利し、マスコミを含めて機運が高まった男子日本代表だったが、いざ参戦してみると欧米の力量に対応できず、5連敗となった。

### <主なスタッフ>

役職	氏名	所属
ヘッドコーチ	ラマス フリオ	公益財団法人日本バスケットボール協会
アシスタントコーチ	マンドーレ エルマン	公益財団法人日本バスケットボール協会
アシスタントコーチ	佐古 賢一	公益財団法人日本バスケットボール協会

### <「AKATSUKI FIVE」選手>

\* 年齢・所属は2019年8月27日現在

NO	選手名	P	身長	体重	年齢	所属
			cm	kg	歳	
3	安藤 誓哉	P G	183	80	27	アルバルク東京
6	比江島 慎	S G	193	88	29	宇都宮ブルックス
7	篠山 竜青	P G	180	78	31	川崎ブレイブサンダース
8	八村 塁	S F	205	102	21	ワシントンウィザーズ
10	竹内 公輔	P F	209	100	34	宇都宮ブルックス
12	渡邊 雄太	S F	208	93	24	メンフィスグリズリーズ
13	安藤 周人	S G	192	89	25	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ
15	竹内 譲次	P F	209	98	34	アルバルク東京
18	馬場 雄大	S F	198	90	23	アルバルク東京
22	ファジーカス ニック	C	211	111	34	川崎ブレイブサンダース
24	田中 大貴	S G	194	93	27	アルバルク東京
32	■ シェーフアー	C	208	107	21	滋賀レイクスターズ
	平均		199.2	94.1	27.5	

(■ シェーフアー アヴィ 幸樹) PG ポイントガード、SG シューティングガード、SF スモールフォワード、PF パワーフォワード、C センター

### グループフェイズ第1ラウンド（一次リーグ） 日本の対戦相手と結果

9月1日

	Q1	Q2	Q3	Q4	計
トルコ	28	19	20	19	86
日本	12	23	14	18	67

日本は、出だしからミスが続きトルコに連続得点され4分半過ぎに#22 ファジーカスの得点のみの5-13と出遅れた。日本は、#8 八村がトルコの厳しいディフェンスで抑え込まれる中、#7 篠山の3ポイントシュートと#8 八村のフリースロー4本を決めてトルコを追いかけるが、その間もトルコが着実に得点を重ね、日本は第1クォーターを12-28の16点ビハインドで終わる。

第2クォーターに入ると、#8 八村や#22 ファジーカスが本領を発揮するが、第1クォータートルコの一方的リードを跳ね返すことはできず、35-47と12点のビハインド。

期待された後半だったが、日本の甘いディフェンスからトルコが3Pをのびのびと決め、点差は開く一方となった。

何とか挽回したい日本だったが、トルコの厳しいディフェンスに対応できず、苦戦の中で放つシュートも外れてリバウンドも取れず完敗した。

日本は、#8 八村15点、#22 ファジーカス15点、#12 渡辺と#24 田中が11点の得点だったが、替わって入った選手が機能せず、フリオ・ラマス ヘッドコーチもお手上げ状態。

### 9月3日

	Q1	Q2	Q3	Q4	計
日本	18	22	15	21	76
チェコ	18	27	19	25	89

トルコ戦の完敗を引きずりたくない日本は、前半から積極的に攻めインサイドの#8 八村にもボールが入って互角の戦いだったが、第2クォーターの半ばから思うようにシュートが決まらなくなり、前半5点のビハインド。

日本の後半に期待が持てたが外角3Pシュートが決まらなくなるとともにチェコにリバウンドを取られ、その後の甘いディフェンスから、ずるずるとチェコに得点を許し又もや敗北。得点能力があるヨーロッパ勢に対して総得点80点以下では勝ち目がない。

結果として、日本は#8 八村21点、#12 渡辺15点、#22 ファジーカス12点と、互角に闘った感があるが、ここでも入れ替わって入った選手の得点能力低下は否めず、またもや完敗となった。データでは2ポイントシュートでチェコの23本・49%に対して、日本は28本・62%と優位であったにも拘わらず、3Pシュートで、チェコ11本・44%に対して、日本は4本しか決めることができず、得点能力不足は否めない。

### 9月5日

	Q1	Q2	Q3	Q4	計
USA	23	33	28	14	98
日本	9	14	8	14	45

大人と子供の対戦のようなアメリカ戦。勝負は試合前からわかっていたが、これほどまでに差があるとは誰も予想しなかったであろう。

スピード、シュート力、ディフェンス、リバウンドなど、どのプレーをみても日本は手も足も出ないという表現が当てはまる試合だった。

ポイントガード篠山や八村を欠いたとはいえ、全てのクォーターでバスケットをさせてもらえなかった。オフェンスではアメリカの強力なディフェンスによって簡単にボールを

奪われ、ディフェンスでは相手のスピードあるパス回しによってノーマークを作られ、3Pシュートを決められる状況。

最後はアメリカが攻撃の手を緩めてくれたので100点ゲームは免れたものの、散々なゲームとなってしまった。

### 第1ラウンドを終えて

日本は、長身者チームへの対策として激しいディフェンスから速いオフェンスに持ち込むことと、試合開始直後に一気に走り込むことが必須なのに、逆に相手チームに攻め込まれ、かき回された。

身体的ハンデからインサイドでの勝負はかなりの困難さを伴う故、アウトサイドからのシュート力向上も必須の課題。欧米の各チームは、ノーマークであればフロントコートはどこからでも得点する能力を持っている上、シュート後のリバウンドに飛び込む執念はすさまじいものがある。

オフェンス時に長身者の長い手指が圧力となるが、これらを乗り越えなければ国際的にランクアップすることはできないだろう。

### グループE 第1ラウンド終了での総合成績

順位	チーム	USA	チェコ	トルコ	日本	勝	負
1	USA		○ 93-92	○ 88-67	○ 98-45	3	0
2	チェコ	● 67-88		○ 91-76	○ 89-76	2	1
3	トルコ	● 92-93	● 76-91		○ 86-67	1	2
4	日本	● 45-98	● 76-89	● 67-86		0	3

### 下位クラス決定ラウンド グループO 日本の対戦結果

第1ラウンド全敗の日本は順位決定戦へ回り、グループFの敗者ニュージーランド（世界ランキング38位）とモンテネグロ（同28位）と対戦したが、いいところなくここでも全敗に終わり、ワールドカップにおいて最下位同然の成績となった。

9月7日

	Q1	Q2	Q3	Q4	計
ニュージーランド	29	26	27	29	111
日本	29	10	22	20	81

八村と篠山を欠いた日本は外郭シュートを連続決めるニュージーランドに100点ゲームを許して完敗した。ワールドカップ直前、日本で開催された国際強化試合でニュージーランドに1勝1敗と好成績だったが、いざ本番となると、ニュージーランドのファイトに対抗できたのは第1クォーターだけで、第2クォーター以降は甘くなったディフェンスにより、ニュージーランドに次々とシュートを決められ、111点という屈辱的な失点となった。

9月9日

	Q1	Q2	Q3	Q4	計
日本	16	17	18	14	65
モンテネグロ	26	14	21	19	80

試合開始直後は互角であったが、第1クォーターの日本は動きが鈍く低身長者のペイントエリアでのシュートが阻まれる一方、相手にノーマークシュートを確実に決められて点差が開く。日本は、#12 渡辺が34得点、#18 馬場が11得点、#22 ファジーカスが10得点と頑張ったが、2Pシュートは42本中の22本で52%、3Pシュートは16本打ったが成功は0であった。総得点が60点台では国際試合に勝てるはずがない。

日本選手は長身者に対するシュートチャンスの作り方、シュート成功率のUPを研究してもらいたいもの。

### グループ O 成績

順位	チーム	ニュージーランド	トルコ	モンテネグロ	日本	1次成績		勝	負
1	ニュージーランド		○ 102-101	○ 93-83	○ 111-81	●	●	3	2
2	トルコ	● 101-102		○ 79-74	○ 86-67	●	●	2	3
3	モンテネグロ	● 83-93	● 74-79		○ 80-65	●	●	1	4
4	日本	● 81-111	● 67-86	● 65-80		●	●	0	5

### ワールドカップを終えて

日本代表チームの選手は、ファジーカス、八村、渡辺を除き、シュートに対する意欲が不足している。長身ディフェンスの指先を越えたボール捌きとシュート成功率のアップを身につけてほしい。成功率を少し上げるだけでも一試合80点は容易に超えられる。

チームオフェンスでセットを組む日本に対し、ほとんどの相手チームはフロントコート全域で走り回り相手マークをはずしてノーマークチャンスを作り得点して行く。日本は厳しいディフェンスから速いオフェンスへの切り替えが身上な筈なのに、リバウンドでも相手に支配されることが多く、速攻は殆ど見られなかった。オフェンスでもターンオーバーミスが多く、その都度相手に攻められていた。攻守において選手の速く変化する動きがチャンスを生むはずであり、根本的な改善が必要である。

ディフェンスはマンツーマンとゾーンを切り替えることで多少の成功を見せたが、シュート成功率の高い相手チームに容易にノーマークシュートを打たせている。外郭で3Pシュートを止めて2Pシュートに変えさせる激しいマークはできないのであろうか。長身者の3Pシュートを阻止する方策を見つけなければならない。

世界のバスケットは、ノーマークであればフロントコートのどこからでも得点できる能力を備えているのに、日本のディフェンスはそれを意識していない。

日本は来年の東京オリンピックまでに、男子日本代表チームを改革する必要に迫られているのだから。

## ワールドカップ 中国 2019 の結果

グループフェイズ第1ラウンド（一次リーグ） 8月31日～9月5日

出場32チームは、グループA～H（8グループ各4チーム）に編成され、グループごとの総当たり戦で、各グループ上位2チームの計16チームが第2ラウンドへ進んだ。

### 1次ラウンド各グループ戦績順位

	<u>1位</u>	<u>2位</u>	<u>3位</u>	<u>4位</u>	開催都市
グループA	ポーランド	ベネズエラ	中国	コートジボワール	北京
グループB	アルゼンチン	ロシア	ナイジェリア	韓国	武漢
グループC	スペイン	プエルトリコ	チュニジア	イラン	広州
グループD	セルビア	イタリア	アンゴラ	フィリピン	佛山
グループE	USA	チェコ	トルコ	日本	上海
グループF	ブラジル	ギリシャ	ニュージーランド	モンテネグロ	南京
グループG	フランス	ドミニカ	ドイツ	ヨルダン	深圳
グループH	オーストラリア	リトアニア	カナダ	セネガル	東莞
<u>2次ラウンドへ</u>			<u>下位決定ラウンドへ</u>		

### 2次ラウンド各グループ戦績順位

	<u>1位</u>	<u>2位</u>	<u>3位</u>	<u>4位</u>
グループI	アルゼンチン	ポーランド	ロシア	ベネズエラ
グループJ	スペイン	セルビア	イタリア	プエルトリコ
グループK	USA	チェコ	ギリシャ	ブラジル
グループL	オーストラリア	フランス	リトアニア	ドミニカ
<u>決勝トーナメントへ</u>			<u>9-12位</u>	<u>13-16位</u>

第2ラウンドの結果、グループごと同位の4チームは、本大会での勝敗数、得失点などの戦績に基づくFIBAルールに従って順位付けされ、グループ内3位はワールドカップ9位～12位、グループ内4位はワールドカップ13位～16位となった。

### 下位チームの対戦 9月6日～9月9日

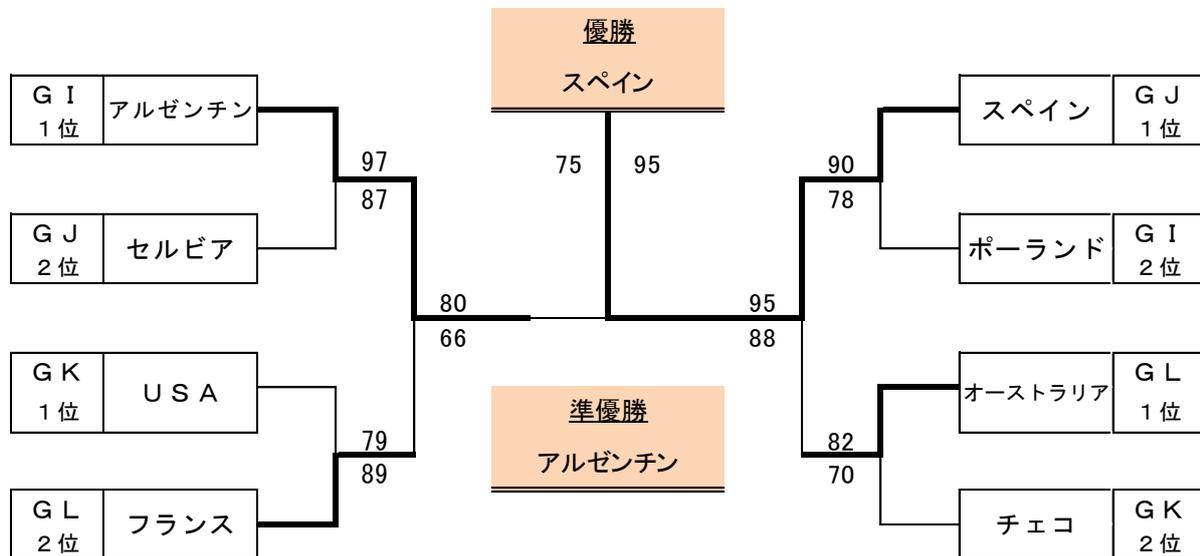
第1ラウンドでの敗者16チームは、各グループ下位2チームが上記第2ラウンド同様にグループ分けされて対戦し、ワールドカップ順位が決められる。その結果、各グループ1位は17位～20位、各グループ2位は21位～24位、各グループ3位は25位～28位、グループ4位は29位～32位に振り分けられた。

下位決定ラウンド各グループ戦績順位

	1位	2位	3位	4位
グループM	ナイジェリア	中国	韓国	コートジボワール
グループN	チュニジア	イラン	アンゴラ	フィリピン
グループO	ニュージーランド	トルコ	モンテネグロ	日本
グループP	ドイツ	カナダ	ヨルダン	セネガル
本大会順位	17-20位	21-24位	25-28位	29-32位

ファイナルフェイズ（決勝トーナメント） 9月10日～9月15日

2次ラウンド上位8チームが勝ち上がり形式で対戦した結果は以下の通り。



ワールドカップ2019 総合成績

順位	チーム	順位	チーム	順位	チーム	順位	チーム
1	スペイン	9	リトアニア	17	ナイジェリア	25	モンテネグロ
2	アルゼンチン	10	イタリア	18	ドイツ	26	韓国
3	フランス	11	ギリシャ	19	ニュージーランド	27	アンゴラ
4	オーストラリア	12	ロシア	20	チュニジア	28	ヨルダン
5	セルビア	13	ブラジル	21	カナダ	29	コートジボワール
6	チェコ	14	ベネズエラ	22	トルコ	30	セネガル
7	USA	15	プエルトリコ	23	イラン	31	日本
8	ポーランド	16	ドミニカ	24	中国	32	フィリピン

## 2020 東京オリンピック出場チーム

ワールドカップの結果、2020 東京オリンピックに出場できる 12 チームの内 8 チームが決まり、残り 4 チームの出場を決める世界最終予選が来年 6 月に行われる。

今回決定となった出場チームは、アジア、アフリカ、オセアニア各大州最上位の 1 チームとアメリカ、ヨーロッパ各大州最上位の 2 チームと開催国枠日本の 8 チーム。

その他の出場チームは、ワールドカップ 2019 の成績が、上記チーム以外の上位 16 チームに、2020 年 6 月開催のアフリカ、アメリカ、アジア、ヨーロッパの 4 地区から選ばれた 2 チーム（計 8 チーム）を加えた 24 チームによる世界最終予選が、来年 6 月に開催されて、計 12 チームが 2020 東京オリンピックに出場する。

## 決定済の 2020 東京オリンピック出場チーム

チーム	大州とランキング
アルゼンチン	アメリカ大州 1 位
アメリカ	アメリカ大州 2 位
スペイン	ヨーロッパ大州 1 位
フランス	ヨーロッパ大州 2 位
オーストラリア	オセアニア大州 1 位
ナイジェリア	アフリカ大州 1 位
イラン	アジア大州 1 位
日 本	開催国枠

## F I B A ランキング

ワールドカップ 2019 の結果に基づいた世界ランキング・ベスト 40 は以下の通りで、日本はこれまでの 48 位から 38 位に浮上している。

順位	チーム	順位	チーム	順位	チーム	順位	チーム
1	USA	11	ブラジル	21	カナダ	31	フィリピン
2	スペイン	12	イタリア	22	イラン	32	アンゴラ
3	オーストラリア	13	ポーランド	23	ナイジェリア	33	チュニジア
4	アルゼンチン	14	クロアチア	24	ニュージーランド	34	フィンランド
5	フランス	15	トルコ	25	メキシコ	35	セネガル
6	セルビア	16	スロベニア	26	モンテネグロ	36	ジョージア
7	ギリシャ	17	プエルトリコ	27	中国	37	ヨルダン
8	リトアニア	18	ドイツ	28	ラトビア	38	日本
9	ロシア	19	ドミニカ(共)	29	ウクライナ	39	ベルギー
10	チェコ(共)	20	ベネズエラ	30	韓国	40	ハンガリー

\* (共) : 共和国

# F I B A 女子アジアカップ 2019 日本が4連覇

## 「AKATSUKI FIVE」女子日本代表 優勝

[編集部]

F I B A 女子アジアカップ 2019 はインドのベンガルールで9月24日から29日まで開催され、日本は一方的な勝利で予選リーグを全勝し、決勝トーナメントでも準決勝で強敵オーストラリアに快勝、決勝戦で宿敵の中国を倒して優勝し、アジアで4連覇を達成した。

ワールドカップアジア予選で苦しんだ男子代表に比べて、女子は力強く長身の相手をものともせず戦った。速いバスケットと抜群のシュート力でアジアを勝ち抜いた奮闘ぶりは称賛に値する。

このチーム力を維持して、来年の2020東京オリンピックでメダルを獲得することを期待したいし、国際舞台における活躍も期待でき、日本のバスケットボール界にまた明るい話題を提供してくれた。

### <主なスタッフ>

役 職	氏 名	所 属
チームリーダー	清野 英二	トヨタ自動車 アンテロープス
ヘッドコーチ	ホーバス トム	(公財) 日本バスケットボール協会
アシスタントコーチ	恩塚 亨	東京医療保健大学
アシスタントコーチ	知花 武彦	トヨタ紡績 サンシャインラビッツ

### <「AKATSUKI FIVE」選手>

\* 年齢・所属は2019年9月9日現在

NO	選手名	P	身長	体重	年齢	所 属
			c m	kg	歳	
0	長岡 萌映子	S F	183	75	25	トヨタ自動車アンテロープス
8	高田 真希	P F	185	74	30	デンソーアイリス
10	渡嘉敷 来夢	P F	193	85	28	J X - E N E O S サンフラワーズ
13	町田 瑠唯	P G	162	57	26	富士通レッドウェーブ
14	本川 紗奈生	S G	176	63	27	シャンソン化粧品 シャンソンVマジック
15	本橋 菜子	P G	165	57	25	東京羽田ヴィッキーズ
27	林 咲希	S G	173	67	24	J X - E N E O S サンフラワーズ
30	馬瓜 エブリン	S G	180	76	24	トヨタ自動車アンテロープス
33	中田 珠未	S F	183	70	21	早稲田大学4年
45	渡邊 亜弥	S G	169	61	27	三菱電機コアラーズ
52	宮澤 夕貴	S F	183	72	26	J X - E N E O S サンフラワーズ
88	赤穂 ひまわり	S G	185	72	21	デンソーアイリス
	平均		178.1	69.08	25.33	

PG ポイントガード、SG シューティングガード、SF スモールフォワード、PF パワーフォワード、C センター

## アジアカップの対戦方式

エントリーされた8チームは、前回のアジアカップ2017の成績に基づき、A/B2つにグループ分けされて対戦するグループフェイズ（予選リーグ）と、ここから勝ち上がった6チームによるファイナルフェイズ（決勝トーナメント）で順位付けされる。

日本はグループAで、韓国、チャイニーズ・タイペイ（以後、タイペイと略称）、インドと対戦し、グループBでは、オーストラリア、中国、ニュージーランド、フィリピンが対戦した。

## グループフェイズ（予選リーグ）日本の戦績

9月24日

	Q1	Q2	Q3	Q4	計
日本	28	22	31	22	103
インド	7	11	6	3	27

9月25日

	Q1	Q2	Q3	Q4	計
タイペイ	12	21	9	7	49
日本	21	6	27	24	78

9月26日

	Q1	Q2	Q3	Q4	計
日本	24	21	30	27	102
韓国	5	21	16	19	61

女子日本代表は、予選リーグで各チームとも相手にせず、大差で勝利した。

しかし、タイペイ戦での第2クォーターで6点しか取れなかったのは頂けない。第2クォーター開始後2分で連続得点されて21-21の同点とされ、直ちに#10 渡嘉敷のジャンプショットで2点リードしたが、その後23-27とリードを許す。前半、第2クォーター残り3分半を過ぎてから#8高田の2本のシュートで27-27に追いついたのみ。相手タイペイには、残り2分ほどで3点シュート、更にレイアップシュートとフリースロー1本があり、日本はこの第2クォーターで21点を失点している。

後半、ディフェンスをしっかりと立て直した日本は、結果的に29点の大量リードでタイペイを制したが、国際大会では常に気合を入れてしっかりバスケットを展開しないと、油断大敵の見本となってしまった。

試合が観戦できていないので正確なコメントはできないが、1クォーターで相手の21得点に対して6得点のみという大差は大きな反省点かもしれない。

グループフェイズ（予選リーグ）対戦結果（世界ランクは2018.10.01.付け）

グループA

順位	チーム（世界ランク）	日本	韓国	チャイニーズ・タイペイ	インド	勝	負
1	日本（10位）		○ 102-61	○ 78-49	○ 103-27	3	0
2	韓国（18位）	● 61-102		○ 48-44	○ 97-62	2	1
3	チャイニーズ・タイペイ（39位）	● 49-78	● 44-48		○ 87-58	1	2
4	インド（45位）	● 27-103	● 62-97	● 58-87		0	3

グループB

順位	チーム（世界ランク）	中国	オーストラリア	ニュージーランド	フィリピン	勝	負
1	中国（7位）		○ 70-69	○ 67-44	○ 104-57	3	0
2	オーストラリア（3位）	● 69-70		○ 82-44	○ 123-57	2	1
3	ニュージーランド（42位）	● 44-82	● 44-67		○ 75-57	1	2
4	フィリピン（47位）	● 57-123	● 57-104	● 57-75		0	3

ファイナルフェイズ（決勝トーナメント）日本の戦績

9月28日

	Q1	Q2	Q3	Q4	計
日本	15	20	17	24	76
オーストラリア	23	5	20	16	64

日本は、出足が悪く、第1クォーターで8点のビハインドだったが第2クォーターで相手を抑えて前半35-28の7点リードで終える。第3クォーターも抑えられたが第4クォーターに差を広げ、長身チームに12点のリードで勝利した。

#15本橋の22点、#52宮澤の19点が目立つ。日本とオーストラリアのチームシュート成功率を比較すると、3点シュート27%対28%とほぼ互角、2点シュート43%対37%と優勢であるが、フリースローは81%（13/16）対88%（7/8）と劣勢であった。またリバウンドはほぼ互角でトータル52対45と日本が勝っていた。

9月29日

	Q1	Q2	Q3	Q4	計
日本	17	17	20	17	71
中国	19	16	16	17	68

日本は、試合開始直後にリードされたが、前半を互角に闘い、日本が34-35と1点

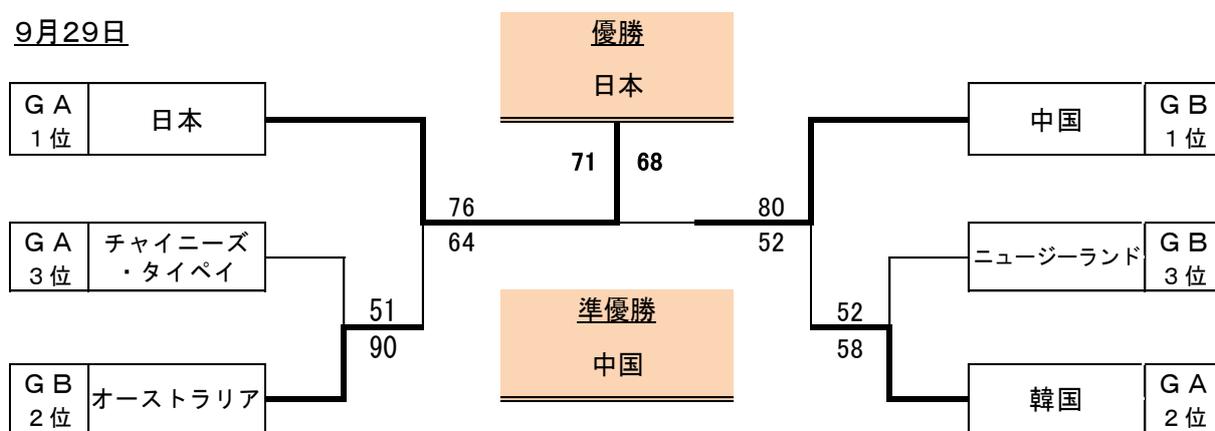
のビハインドであった。しかし、第3クォーターに厳しいディフェンスを仕掛け、54-51の3点をリードする。第4クォーターを頑張って、前回ワールドカップの雪辱を成した。

ちなみに、個人得点は#15本橋の24点、#8高田の14点が突出している。相手中国は長身#15ハンが18得点している。日本と中国のチームシュート成功率を比較すると、3点シュート60%対47%と優勢であるが、2点シュートは38%対47%、フリースローは40%対80%と劣勢であった。一方、リバウンドはトータル36対37で互角であった。

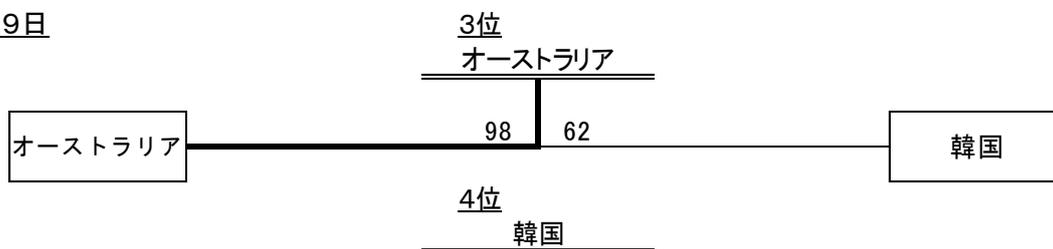
MVPには#15本橋菜子、ベスト5の一人に#52宮澤夕貴が選ばれた。

### ファイナルフェイズ（決勝トーナメント）対戦結果

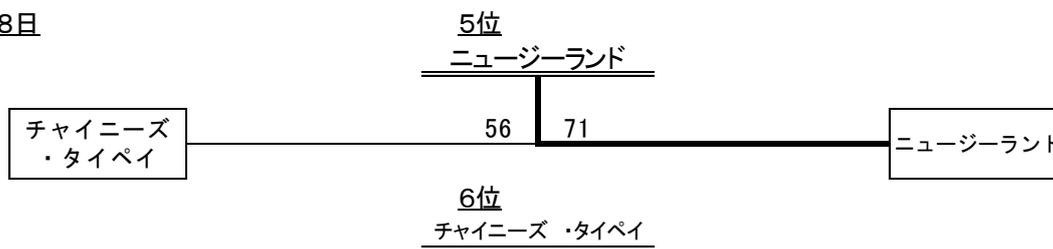
9月29日



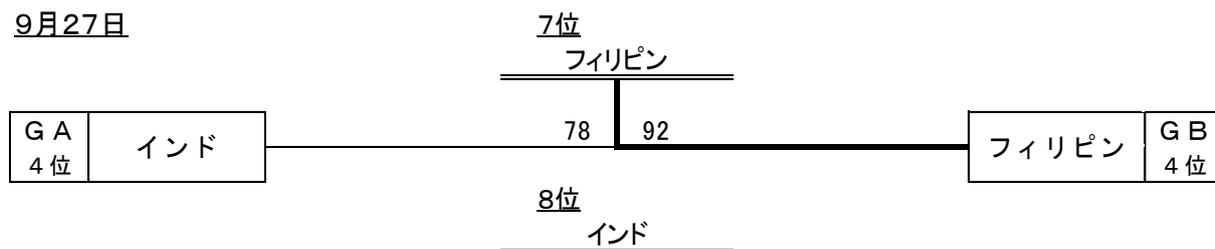
9月29日



9月28日



9月27日



## 高校籠球ふるさと記（京都府編）

### 「高校籠球ふるさと記」連載開始にあたって

日本のバスケットボール界が今沸き立っている。ご存じ、八村塁選手のNBAウィザーズでの鮮烈デビュー。まさに八村効果、メディアでも大きく取り上げられ、あの人気漫画「スラムダンク」が火付け役となった平成のバスケブームの再来といえよう。バスケット関係者としては、喜ばしいことであり、八村選手に続く日本人選手が数多く出てくることを期待したい。

ところで、日本人選手の登竜門といえば、インターハイやウィンターカップ。今年夏の南部九州インターハイでは、出場校男子53校、女子51校のうち、公立は男子14校、女子18校。54年前、1965年の長崎インターハイでは男子65校中、54校、女子68校中、41校が公立であった。

因みに、半世紀以上を経て両方に名を連ねている公立男子は能代工業、四日市工業、広島皆実、豊浦の4校、私立男子では、東山、新田の2校。公立女子は松江商業と鹿児島女子の2校、私立女子では、東京成徳大、京都精華学園の2校。

生徒の募集や練習時間等々で私立に比べ、ハンディキャップを背負いながら頑張っている上記公立高校、ハイレベルの戦績を期待され、それに応え続けている上記私立高校、それぞれに心からのエールを送りたいと思う。

それにつけても、三条、松江工業、山城等の嘗て勇名を馳せた公立高校は今どうなっているのだろうか。静岡、浜松商業の静岡県勢は？超弩級の選手を輩出続けた中大（杉並・付属）、文武両道の武蔵は？浦和第一女子、栃木女子、宇都宮女子商業、名古屋女子商業（市邨学園）、樟蔭東といった女子名門校は？滝野川、十文字の東京都勢は？夙川学院、甲子園学院の兵庫県勢は？大曲、角館南の秋田県勢は？戦後の昭和時代（1951年頃から1989年迄）の高校バスケットを知る（概ね50歳前後かそれ以上の）世代なら、誰しも気になるところではないだろうか。

そんな思いを抱きつつ、ここでは都道府県ごとに当時のバスケットの名門高校や選手、その指導者、審判や協会役員等々で活躍されたレジェンドに焦点を当て、それらを纏めてみた。題して「高校籠球ふるさと記」。これにより、各地域の高校バスケットの歴史や伝統が浮き彫りになることを望み、そして、願わくは、それらを次世代に引き継いでいく縁にして頂ければ幸甚である。

[総務部]

## 高校籠球ふるさと記（京都府編）

京都府バスケットの歴史を語る場合、最初に思い浮かぶのが京都バスケットボール協会である。1924年に設立され、本年で95周年を迎え、現在もバスケットの普及・発展のために活動している。

さて、京都のバスケットは「FHブラウン」とアメリカウイスコンシン大学で本格的にバスケットをプレーした「佐藤金一」が1915年に京都のYMCA体育場で出会ったことから始まっている。因みに、同氏は当時、京都府立一中＝現洛北高校の英語教諭であった。

2014年には「日本のバスケットボールがこの地で始まる」としたモニュメントが京都YMCAに設置され、多くのバスケット人がここを訪れている。また、2017年には米国バスケットボール歴史館のあるスプリングフィールド大学長から京都バスケットボール協会に対し、「日本のバスケットボール発祥の地」として認定するとの書簡と、記念盾、そして記念ポスターが贈呈された。(以上、令和元年のウェブサイトに掲載の京都バスケットボール協会代表理事・会長 児玉幸長氏の「ごあいさつ」から引用させて頂いた)

このような歴史と伝統を誇る京都のバスケットであるが、本誌では昭和26年(1951)頃から昭和64年(1989)頃迄を対象に、その間、府内で活躍した高校や選手、コーチ・指導者、更には当時の審判員や協会関係者にも焦点を当て、京都府のバスケット界を通観してみたい。内容に、抜けや思い違いがあるかもしれない点、読者の皆様からのご指摘をお待ちしたい。(なお、個人名は敬称略。参照文献は末尾に記載)

まずは、男子であるが、大きくは3つの期間に分けることができる。

#### 第一期 (1951年—57年)

名将・名伯楽の**小森**監督指導の下、活躍したのが**府立山城**。少し遡るが、1948年には福岡で開催の国体・インターハイで優勝を飾り、このことが、京都府全体のチームに対して、起爆剤となり、以降「打倒山城」を目標として切磋琢磨し、また技術の発信基地となった。その後も国体で第3位(52年)、インターハイで第4位(53年)、西日本大会で第2位(53年)、優勝(56年)と輝かしい戦績を残すと同時に数々の名選手を輩出している。

打倒山城を旗印に頑張ったのが、**府立洛北**。インターハイで第3位(52年)近畿大会で優勝(55年)とこれもまた、輝かしい戦績を残している。インターハイ3位のメンバーからは**別所**と**水内**が同志社大に進学し、西日本大会、関西大学リーグの優勝に貢献した。

両校ほどは目立たないが、頑張っていたのが、**京都市立堀川**。近畿大会で優勝(54年)、西日本大会で第3位(54年、56年)といった戦績を残している。

#### 第二期 (1958年—69年)

知将 **細川**監督の下、まさに**府立山城**の黄金時代。そこで編み出されたのが、ゾーンとマンツーマン併用のオールコートプレス。他の強豪校にとっては打倒するのが難しかった伝統の戦術。近畿大会優勝1回(58年)、インターハイ優勝1回(58年)、第3位3回(59年、62年、63年)、国体優勝2回(59年、62年)、第3位1回(61年)と輝かしい戦績を誇っている。この中から、**森史朗**(59年卒、早大—日本伸銅 故人)、**並川良弘**(59年卒、日大—日本鋼管 故人)、**吉川峰夫**(66年卒、芝浦工大—住友金属)他、数多くの名選手を輩出している。

山城の陰に隠れてはいたが、**京都市立紫野**の活躍もあった。近畿大会優勝1回(63年)、3位1回(62年)、インターハイ出場4回の実績がある。

同じく、忘れてはならないのが、**私立東山**、57年創部と公立高校に比べ、歴史は浅く、インターハイ出場は4回であるが、**石川俊紀**(60年卒、日体大—京産大監督、京都協会理事長、京産大名誉教授)、**大佛整**(64年卒、日大—松下電器) **大石敏夫**(65年卒、日体大—熊谷組)、**清水良規**(67年卒、日体大—松下電器、同監督、全日本監督)、**村田健一**(76年卒、京産大—三菱電機)といった全日本レベルの選手やコーチ・監督他、京滋の中学・高校の指導者を数多く輩出している点で突出している。創部以来40年間指導した**高橋**監督の功績が窺える。

### 第三期（1970年—89年）

私立洛南の天下、71年以降89年までインターハイ京都府予選で連続優勝、近畿大会で72年以降12回優勝、インターハイで78年に優勝、第3位が3回と京都府では圧倒的強さを誇っている。その背景には、府内はもとより、全国から優秀な中学生が南波、作本、吉田といった京都が生んだ名指導者の指導を求めて集まったという事情がある。同校が輩出した全日本レベルの選手は数多くいるが、府内出身者では卒年が少し後の92年に富永啓文（日大一三菱電機）がいる。95年のユニバーシアード、98年の世界選手権の日本代表に選ばれている。

次に女子であるが、大きくは4つの期間に分けることができる。

### 第一期（1951年—58年）

府立山城、府立鴨沂、京都市立堀川の3校に私立京都女子が絡んでいる時代。山城が近畿大会で優勝2回、西日本大会で3位が2回、国体で3位が1回、インターハイで4位1回。鴨沂が西日本大会で3位、インターハイで4位それぞれ1回。堀川が近畿大会で優勝、準優勝それぞれ1回、京都女子が近畿大会で優勝1回とハイレベルな戦いをしていた。この時代の著名な選手としては京都女子卒の江守（旧姓）良子で、日本レイヨン宇治（現ユニチカ）に入社、日本リーグで活躍、全日本代表選手。

### 第二期（1959年—67年）

府立山城、私立精華に私立平安女学院と私立京都女子が絡む時代。山城が近畿大会で優勝1回、準優勝1回、国体3位1回。私立精華が近畿大会で優勝1回、準優勝3回。

### 第三期（1968年—81年）

府立山城に代わり府立東舞鶴、市立堀川が台頭。これに私立京都女子、私立ノートルダム、私立家政学園の私学が加わって群雄割拠時代。東舞鶴が近畿大会で準優勝1回。

### 第四期（1982年—89年）

私立明德商業と私立家政学園の2校が競合する時代。

この時代の著名な選手としては明德商業卒の参河（旧姓）紀久子が、共同石油（現JX）に入社、日本リーグで活躍、全日本代表選手でアトランタオリンピックにも出場。

### <コーチ・指導者>

- ・小森 正巳（故人）、1920年生まれ、神戸二中—東京高等師範から京都三中に奉職、1956年に山城高教員に復帰、1960年の京都府指導主事転出まで、細川と組んでオールコートプレスディフェンスを確立。1958年に男女ともインターハイベスト4（男子は優勝）という輝かしい戦績で山城の名を全国に轟かせた。京都府立大教授時代には、創世期の私立洛南の技術指導も行った。山城卒業生を中心に日レ（現ユニチカ）宇治のチーム創設・指導に関わり、全国レベルのチーム作りに貢献、1965年全日本女子監督、1996年逝去。
- ・南波 道雄（故人）、1923年生まれ、京都師範から小学校教員の傍ら立命館大卒。1967年から私立洛南を指導、小森の技術指導を上手く取り入れ、1978年のインターハイでチームを初優勝に導き、同校のその後の輝かしい戦歴の礎を作った。
- ・細川 馨、1932年生まれ、長野県立松本県が丘高校—東京教育大卒業後、1954年に山城に赴任、小森と二人三脚でオールコートプレスディフェンスを確立。1967年に大阪体育大教授に転出するまで男子をインターハイ優勝1回、国体優勝2回に導く輝かしい戦績を残した。
- ・作本信夫雄、1971年より、私立洛南で指導開始、南波の指導を受け継ぎ、その後の輝かしい戦歴の立役者。

- ・因みに、京都の高校は私立東山以外でも、**中川文一**（府立城南—東京教育大—日レーション化粧品—全日本女子）や**中小路哲**（府立洛北—東京教育大—大阪体育大）といった全国レベルの指導者も輩出している。

#### <審判員>

京都は戦災を免れたこともあり、戦後、多くの全国大会や大学チームの交流試合が開催された。そんななか、**高橋秀三**、**藤野弥一郎**、**遊津孟**らが活躍。そこには良い審判によりクリーンで素晴らしいプレーが生まれ、観客にも感動を与えられ、そこに審判の指名があるとの哲学の下、研鑽に励んだ。京都市には体育館が集中しており、互いの交流・研鑽がしやすいといった事情も背景にあった。1951年には、全国公認審判審査制度が採用され、1954年の公認審判に**深井隆三**、**南波道雄**が選出されている。1964年の東京オリンピックには、**南波道雄**、**福田利廣**、**細川磐**の3名が国際審判員として参加、その後、**手塚純**、**湯浅暢宏**が受け継いでいる。

#### <協会関係者>

- ・**藤野弥一郎** 会長・**深井隆三** 理事長 1952年—65年

藤野は京都バスケットボールの発展に中心的役割を果たした。審判としても国際ゲーム等で笛を吹き、その技術に高い評価を得た。市立二条高女のコーチとして「二条」の名を全国に轟かせた。

愛媛県体育課長に転出した遊津孟の後任として理事長に就任したのが深井隆三（京都師範OBで当時は府立鳴沂）。深井は会長を補佐し、京都協会の基盤を作った。

1956年に遊津が副会長に就任。またこの時期、新制高校発足から高体連部長を務め、山城を全国優勝に導いた小森が副会長に就任。藤野体制に強力な柱が揃った。

- ・**遊津孟** 会長・**小森 正巳** 理事長 1966年—72年

遊津と小森は日本協会の選手強化に関わった。特に小森は全日本女子の監督としてその強化に関わり、プラハで開催の世界選手権に臨み、第5位の成績を残した。山城を強くしそのOGが中心となるチーム日レを作り、全国レベルのチームに育て上げた。アメリカからコーチを招き、高校生を対象にクリニックを行い、かつ、国際親善ゲームを誘致して京都のレベルアップを図った。

- ・**遊津孟** 会長・**福田利廣** 理事長 1973年—85年

国際ゲームを再三誘致するとともに日本リーグの恒常開催にも尽力した。福田は行政・体育協会・報道機関等とのパイプ作りの他、京都の審判育成にも尽力し、車椅子バスケットの振興にも注力した。74年には京都府クラブ連盟が設立され、83年には京都府ミニ・バスケット連盟が設立された。

- ・**林田 悠紀夫** 会長・**藤木秀雄** 理事長 1986年—89年

1988年の第3回京都国体開催に向けて、85年にスタートを切った準備委員会であるが、協会組織の活性化国体選手強化、大会運営の役員育成を目的に福田からバトンを受けたのが藤木。藤木が、企業人として組織的な協会運営に取り組み、京都国体を成功に導いた。また遊津の死去により、林田京都府元知事が会長を引き継いだ。

#### <参照文献> 「創立70周年記念史」（京都バスケットボール協会）

「京都バスケットボール100年 in 2014（京都バスケットボール協会90周年）記念誌」（京都バスケットボール協会）

（文責 蒲田 尚史）

# 日本バスケットボール殿堂の設立

[普及部]

「日本バスケットボール殿堂」(JBHF=The Japan Basketball Hall of Fame)の設立について、流通経済大学助教 小谷 究 先生からご寄稿を頂いたので、ここに掲載する。

「日本バスケットボール殿堂」を設立することにより、「日本のバスケットボール競技の歴史を公式記録として残す」こと、「バスケットボール界の功労者を敬愛し、その歴史を永く継承する」ことが可能となる。また、それはバスケットボール競技の愛好家に誇りを抱かせることにつながる。そのためには、「日本バスケットボール殿堂」(JBHF)の設立が必要不可欠となるであろう。

当振興会はこの設立を支援するので、会員の皆様にもご賛同を頂きたい。

## 「日本バスケットボール殿堂」設立について

小谷 究



1891年12月にアメリカ・マサチューセッツ州スプリングフィールドの国際YMCAトレーニング・スクールでJames Naismithによって創始されて以来、バスケットボールは今や世界的スポーツへと成長を遂げた。我が国では、1913年、日本YMCA同盟の体育事業専門主事の派遣要請に応え、アメリカからFranklin H. Brownが来日したことを契機としてバスケットボールが普及しはじめた。我が国においても、今日ではバスケットボールは多数の競技人口を有するスポーツとなっており、普及の過程には、顕著な活躍をしたレフリーやプレーヤー、コーチ、競技の発展に大きく寄与した人物が存在している。

しかし、これまで日本のバスケットボール界には、先達を敬い、その歴史を顕彰、夢や憧れを与える仕組みがなかった。今日に至るまでに大小様々なレベルで日本バスケットボール殿堂設立の話が存在したであろうが、残念なことに、具体的な動きは見られなかった。そこで、バスケットボール界の精神の拠り所となり、バスケットボール愛好者に夢や憧れを与え、バスケットボール界の普及拡大に寄与することを目的として2018年12月21日に日本バスケットボール殿堂が設立された。

殿堂が設立されたといっても、有志によって構成された任意団体であり、日本バスケットボール協会、Bリーグ、日本バスケットボール学会、日本バスケットボール振興会などのバスケットボール関係団体に所属するものではない。つまり、日本バスケットボール殿堂は大きなバックアップを得ていない。そのため、日本バスケットボール殿堂もアメリカのバスケットボール殿堂にならって大学の小さなスペースから細々とスタートすることとなった。様々な影響を排除し、真の掲額者を決定する機関としては、今後も他のバスケットボール関係団体に属さないほうが良いのかもしれない。一方で、日本バスケットボール殿堂は、アメリカのバスケットボール殿堂および日本のスポーツ関連の殿堂との連携をとっていきたいと考えている。とくに、日本野球殿堂博物館の関係者の方々には、これまでも殿堂の運営について指導いただいている。

さて、日本バスケットボール殿堂は殿堂事務局及び殿堂委員会、選出委員によって構成される。事務局は、主に殿堂を管理・運営し、担当者は生涯にわたり殿堂入りすることができない。殿堂委員会は最大12名の委員で構成され、候補者リストを作成する。殿堂委員は委員の期間及び委員の任を終了後5年間は殿堂入りすることができない。選出委員はバスケットボール競技に関する報道経験があり、かつ、スポーツに関する報道経験を3年以上有する者で構成されており、殿堂委員会で作成された候補者リストに投票する。選出委員による投票の結果、投票総数の75%以上の得票者が殿堂入りとなる。

2019年の殿堂入りは2019年3月31日に発表され、大森兵蔵と李想白の2名が殿堂入りを果たした。大森兵蔵は、現在放送されている大河ドラマ『いだてん』のなかでストックホルムオリンピックの監督として描かれているが、今日の主要骨子ができあがったバスケットボール（コートは長方形、バックボードの設置、フィールドゴールの得点は2点、フリースローの得点は1点、1チームの人数は5人）を最初に日本へ紹介した人物でもある。

李想白は、大日本バスケットボール協会の設立に尽力し、中心的役割を担った。また、李想白は、1930年に指導書『指導籠球の理論と実際』を出版し、当該書籍は当時の指導者のバイブルとして愛読された。さらに、李想白は全国を技術指導のため東奔西走し、さらにはコーチとして早稲田大学を1932年と1934年の2回に亘り全日本選手権大会に優勝させたことにより、当時の日本には李想白の理論が広まっていった。1978年から開催されている日本と韓国の学生選抜チームによる「李相佰杯争奪日韓学生バスケットボール大会」で李想白の名前を耳にしたことがある方も少なくないであろう。

日本バスケットボール殿堂は、今後、殿堂入りを果たした2名のレリーフを作成し、掲額したいと考えている。しかし、現在のところレリーフを作成するだけの寄付金が集まっていないのが実状であり、しばらくの間はウェブのみでの運用となっていくだろう。日本バスケットボール殿堂では掲額者のレリーフ作成、レリーフ設置スペース整備、殿堂運用にかかる経費をまかなうための寄付を募っている。多くの有志にご協力を仰ぎたい次第である。

(流通経済大学助教)

#### 【寄付について】

一口：5,000円

常陽銀行（銀行コード：0130）

竜崎支店（支店コード：020）

普通 1920583

日本バスケットボール殿堂代表 小谷 究

※ 日本バスケットボール殿堂のHP等に何口寄付していただいたかを掲載させていただける方は下記のメールにご連絡いただければ幸いです。

[japan.basketball.hall.of.fame@gmail.com](mailto:japan.basketball.hall.of.fame@gmail.com)

日本バスケットボール殿堂ホームページ

<https://www.hoophall-jp.com>



## シニアチーム紹介 岩手マスターズ

[普及部]

今回は“東北の雄”岩手マスターズを前回の「駄馬」に続くシニアチームとして、83号の人物抄で紹介された代表の油井氏（下記集合写真の前列中央）に投稿をお願いしたので紹介する。

今後も各チームに、歴史をはじめ特色ある面を存分に吹聴頂きたいと思っている。

### 岩手県内オールドタイマー寄せ集めの「岩手マスターズ」

油井 康

我が岩手マスターズは、広い岩手県内のオールドタイマーの寄せ集めチームであり、振興会のシニア交歓大会 in YOYOGI に参加している他のチームに比べて歴史は浅い。

従って、誕生した経緯とか、さしたる戦歴は持ち合わせていない。岩手マスターズはシニアのチームとして“八幡カップ”を期に結成されたのである。



最近のメンバー

盛岡バスケットボール協会の主催で8月に開催される岩手県マスターズ大会は、岩手県内のバスケット経験者が集い、40、50、60代の参加者をそれぞれ2チーム作り、午後から半日かけて延々プレーする交流会である。

この試合の後はお定まりの懇親会。ゲームの結果、若き日のプレー等の話題でゲームより盛り上がる。この懇親会でシニアの大会を呼びかけ、年代別に分けてチーム作りをすると苦も無く新チーム結成ができる。

平成11年頃、八幡カップの大会を岩手奥州（当時水沢市）で開催してから岩手マスターズの絆が強くなり現在に至っている。

前記の交流会に岩手県バスケットボール協会から、「参加する選手は全員選手登録をして登録し、登録料を収めて参加すること」という指示があった。

余談ではあるが、八幡カップ前橋大会の前日、全チームの代表に招集がかかり私も会議に参加した。来年度の大会予定地である千葉県銚子市が開催不能になったのは、日本バスケットボール協会の共催でないからであるとのこと。この理由により、大会主催者から、日本バスケットボール協会が出す補助金を餌に、チーム登録もしくは、参加選手の個人登録を義務づけて2年分を全納することの案が提出された。

これに対する審議に入り、私は次の提案をした。

1. 大会を開催することが出来ない場合は、いつでも岩手県奥州市が引き受ける。
2. ワールドカップの負債の一部を2年分の登録料で穴埋めする案には賛成できない。  
若し私が個人登録をし、80歳を越した私が今年死亡した場合はどうするのか。
3. 八幡カップのバスケットボールは独自のルールであり、全国から昔の夢を追い「バスケットごっこ」をしている仲間であり、この大会のバスケットは「いい加減なバスケットである」。
4. シニア大会の開催趣旨は、若かった頃のプレーを思い出しながら、バスケットを続ける場であり、1点を争いつつ凌ぎを削るフロアではない。誰にでも気楽に参加出来るように、門戸を広げていきたい。そのために日本バスケットボール協会の力を借りずに私達で運営していく自信がある。

以上の理由で「日本バスケットボール協会の傘の下に入ることに賛成できない」と発言したところ拍手が起こり、続いて岡山の辻さんが次のように発言した。

『八幡カップは私達の大会だ。八幡カップは、フアジーなバスケットであり、日本バスケットボール協会のルールに適應するバスケットではない。日本バスケットボール協会の力を借りなくても続けることが出来る』と。そして、「八幡カップは永遠なり」と結んで追い打ちをかけた。

全員が拍手をし、上記大会主催者の提案は満場一致で否決された。

その夜開催された親睦会で、私と岡山の辻さんは、参加者から「私達の言いたいことを代弁してくれて大変有難うございました」と。岡山の辻さんと私は、ビール攻めにあった。

八幡カップ、横浜カップ、シニア交歓大会 in YOYOGI 等の全国交流会はその後、日本バスケットボール協会の干渉はなく、独自に運営しており、何のかかわりもなく、益々盛り上がりを見せている。

正に「シニアバスケットは永遠なり」である。

私はこのことを岩手県バスケットボール協会に話し、登録の義務撤回を要求した。それ以来、大会名を“岩手シニアバスケット大会”から、“バスケット交流会”と変更し、登録の義務もなくなった。

話が大部分それだが、岩手マスターズは県内だけでなく、千葉、福島、東京日野市に居住する県出身者にも声をかけ、それを含め60歳以上で約25名の選手が集まった。練習は月3回から4回、盛岡と奥州市で行っており、大会近くには合同練習をしてゲームに備えている。

シニア交歓大会 in YOYOGI の参加は、私が渡辺時雄さんに誘われて「Coki-Coki」に入り楽しんだのが始まりである。その後岩手に帰って、“代々木”でシュートしてきたと自慢したら、みんなが羨望の声をあげ、自分たちも是非参加したいと要望され振興会にお願いして、岩手マスターズのチームとしての参加が実現した。

みんな、いわば「聖地」である代々木でのゲームに緊張して、思うような成果あげることが出来なかったが、「聖地」デビューに満足して、次回の雪辱を期して帰郷した。

現在50歳代の選手が60歳代に入ってくると、80歳代も半ばの私などは、コートの外に押し出されてしまいそうである。

シニア交歓大会 in YOYOGI をはじめ、八幡、横浜、東松山と今年は4回の大会に参加となったが、選手たちは万難を排して、積極的に参加してくれるので嬉しい限りである。

千葉に住む三浦真造君は先年まで“SOS”にレンタルしていたが、今年八幡カップに岩手から出場したいとの要望があり、これを受け入れてチームに厚みを増して出場できるとほくそ笑んでいる。しかしそれ以降は、名門「駄馬」に所属を代えて岩手と対抗することになる。

平成24年八幡カップの札幌大会の際、山形八幡チームからの申し入れで山形と岩手の合同チームを作り、チーム名を「東北サンガンズ」として、監督兼選手、油井 康、コーチ兼選手、阿部成章で優勝しているが、それ以後、ジョイントしたことが無い。去年活躍してくれた選手が今年もという訳にはいかないのがこの年代である。

選手に体力をつけ、上手になってくれとは言えず、せめて今年の状態を維持してくれることを願うのみである。戦力アップは下の年代から上がってくる新加入の選手を頼りにするしか手だてはない。

代々木は我々にとっていわば「聖地」である。力が入るのはこの大会である。何とか優勝したいと思うが、寄せ集めのチームの悲哀、なかなか思うにまかせない。

オリンピック東京大会がはじまることでもあるので、いわば「オリンピック精神」で「参加することに意義」を求めて全国のチームと交流することを楽しみに、日々体調を整え、美味しい酒が飲めるように精進したい。

以上



本年のシニア交歓大会にて



### アジアのバスケット好きな仲間たち

#### その5：ワールドカップ2019観戦記

鈴木 承二

今回は、中国で開催の首記大会について、アジア地域のバスケット仲間である上海在住の福田一幸氏から観戦記をいただいたので紹介する。



#### ワールドカップ観戦記 IN SHANGHAI

チーム 上海 MASSA 代表 福田 一幸

2019年8月31日に中国/上海でバスケットボールのワールドカップが開幕しました。9月1日には、日本代表の初戦である対トルコ戦が行われ、さっそく観戦に行ってきました。

我が日本代表は、苦しんだ末でのワールドカップ出場を勝ち取ったことから、会場には、多くの日本人ファンの方が観戦に来ていました。聞いたところによると、観戦のためにツアーで来た熱狂的な日本人ファンの方もいるとか。

当日は、残念ながら雨模様であったものの、試合開始の2時間前には多くのファンで溢れかえっていて、すごい熱気でした。実は、日本対トルコ戦というマイナーな国同士、しかも、この試合の後に、アメリカ対チェコ戦が開催されることから、それほど多くの人が観戦に来ていることはないと思っていたのですが、そのようなことはなく、多くの中国人ファンも観戦に来ていました。その中でも、日本代表応援団が目立つと思いきや、トルコ代表応援団も目につき、試合前から大いに盛り上がっていました（特に、トルコ代表応援団は、赤色だったので、目立っていましたね〜）。

試合会場は、上海の浦東地区にある「東方体育中心」＝「東方体育センター」という大きな体育館で、日本のバスケットボールの聖地である代々木第二体育館の5倍以上はあるくらいの大きな体育館です。興奮してしまい1時間40分くらい前に入場したのですが、既に、大勢のファンが会場入りしていました。



「東方体育センター」入口ディスプレイ

---

## 会員だより

---

会場入りしてみると、既に、日本代表がコート上でアップをしています。ワールドカップ予選で苦しんでいた日本代表を知っているだけに、この場で日本代表がアップをしているところを見るだけで、何か熱いモノが込み上げてきてしまいました。この後、試合が始まったらどうなるのだろうか、という自分自身への不安を抱きつつアップを観戦。日本代表も相当気合いが入っていて、大舞台へ挑戦する気持ちが伝わってきました(この時点で、涙腺が緩んでしまい・・・)。

時間があっという間に過ぎ、試合開始前のセレモニーが開始され、国歌斉唱です。この



コートで整列の日本代表チーム

時、日本代表を見ながらの国家斉唱で気持ちは最高潮、試合開始への期待感も高まります。この時ほど、上海に住んでいて良かった！と思うこともなかったのではないかと思うくらい、気持ちが昂ぶっていました。「日本代表、頑張れ!!!」

いよいよティップアップ。会場のボルテージも上がった中で、試合が開始されました！ いやいや、始まってすぐにトルコ強い！ということが。ディフェンスもオフェンスも日本代表が押されている！ ボールが前に進まない！！ こんなはずじゃ・・・と、プレーヤーでもない私が思いつつ、一方で、これが本気の世界レベルか・・・とも。

試合開始直後は、予想以上のトルコ代表の強さに圧倒されてしまいましたが、落ち着いてゲームを見てみると、トルコ代表は日本代表を良く研究しています。八村選手が徹底マークされていますし、八村選手がボールを持った瞬間に、ディフェンスが八村選手に2人もよってきている！ いや～、日本代表、研究されている。いや、待てよ。日本代表が研究されていたことなんてあったか？ こんな気持ちを持ちながら、日本代表を応援！

ピックアンドロールを仕掛けられて、少しでもディフェンスと距離が出来る3ポイントを打ってくる！ その3ポイントが入る。これも世界レベル。欧州で強いチームとあたって鍛えられているとシュート確率も上がるな～、と思いつつ、Bリーグでは、こんなに3ポイントを打っていたかな？ なんて思ったりしていました。

そんなこんなを思っていたら、いつの間にか2Qが終了。この時点で、47対35の12点ビハインド。う～ん、1～2Qを見ていると追いつくのは難しいか、いやいや、ここで応援に力を入れれば、追いついて記念すべき欧州勢からの初勝利、と、色々なことが頭を駆け巡っている内に、第3Q開始。トルコ代表は手を緩めるどころか、本気モードを継続して、日本代表に向かってきています。

トルコ代表のシュートが落ちない、ミスをしないう、日本代表の付け入る隙がない。それでも、日本代表は必死に食らいついています！「頑張れ、日本！」途中で、篠山選手のハッスルプレーが出たり、八村選手のダンクが出たりと、日本代表もトルコ代表に食い下がっています。日本代表がこんな素晴らしいプレーを見せてくれているので、当然、応援に

---

## 会員だより

---

も力が入ります。

試合時間も残り少なくなってきたにもかかわらず、日本代表は全く諦めていません！ひたむきなプレーを見て涙腺が……。とうとう、第4Qが終わってしまいました。結果は、86対67で、日本代表は残念ながら初戦を飾れませんでした。初戦は飾れませんでした。日本代表は全力で強豪国に、そして、本気の世界のバスケットにぶつかっていったと思います。見ている人を感動させるバスケットは素晴らしい！日本代表、感動をありがとう！

この後、日本代表は、チェコ代表とアメリカ代表と対戦し、予選リーグは全敗という結果になりました。ちなみに、私は、アメリカ代表戦も観戦しに行きましたが、トルコ戦と同じように日本代表は強豪相手に全力でぶつかっていました！

結果的には、今回のワールドカップで、日本代表は5戦全敗という結果でしたが、随所に良いプレーが出ていました。そして、何より、日本代表全員が一丸となって全力で戦ったことに感動です！

長い間、世界のバスケットから離れていたために、追いつくのは簡単ではないかもしれませんが、ひたむきな気持ちは、今の時点でも、どのチームにも負けていないと思います。来年は、東京でオリンピックが開催されます。更に、高いレベルでの戦いになることが予想されます。これからも、日本代表を応援します！

頑張れ、日本！日本のバスケットは、これからだ！！

以上



「東方体育センター」内の  
コートとワールドカップ垂れ幕

# Bリーグ情報

[編集部]

## 2019-2020 シーズン開幕

Bリーグの2019-2020シーズンが開幕した。

B1・B2・B3、各リーグの所属チームは以下の通り。

### 【B1】

地区	チーム名	前年順位	備考
東地区	千葉ジェッツ	1	
	宇都宮ブレックス	2	栃木ブレックスから名称変更
	アルバルク東京	3	
	サンロッカーズ渋谷	4	
	秋田ノーザンハピネッツ	5	
	レバンガ北海道	6	
中地区	新潟アルビレックスBB	1	
	川崎ブレイズサンダース	2	
	富山グラウジーズ	3	
	シーホース三河	4	
	三遠ネオフェニックス	5	
	横浜ビー・コルセアーズ	6	
西地区	琉球ゴールデンキングス	1	
	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	2	
	京都ハンナリーズ	3	
	大阪エヴェッサ	4	
	滋賀レイクスターズ	5	
	島根スサノオマジック		西地区B2(2位)

### 【B2】

地区	チーム名	前年順位	備考
東地区	群馬クレインサンダース	1	
	仙台89ERS	2	
	茨城ロボッツ	3	
	福島ファイヤーボンズ	4	
	山形ワイヴァンズ	5	
	青森ワッツ	6	
中地区	信州ブレイズウォリアーズ	1	
	Fイーグルス名古屋	2	
	西宮ストークス	3	
	アースフレンズ東京Z	4	
	越谷アルファーズ		B3(1位)
	東京エクセレンス		B3(2位)

西地区	熊本ヴォルターズ	1	
	広島ドラゴンフライズ	3	
	バンビシャス奈良	4	
	愛媛オレンジバイキングス	5	
	香川ファイブアローズ	6	
	ライジングゼファー福岡		西地区 B 1 (6位)

### 【B 3】

地区	チーム名		備考
東北	岩手ビッグブルズ	6	
関東	東京サンレーヴス	3	
	埼玉ブロンコス	4	
	東京八王子ビートルズ		中地区 B 2 (6位)
中部	金沢武士団		中地区 B 2 (5位)
	ベルテックス静岡		新規
	豊田合成スコルピオンズ		
	アイシン・エイ・ダブリュ アレイオンズ安城		新規
	岐阜スウーパス	5	
中国	トライフープ岡山		新規
九州	佐賀バルナーズ		新規
	鹿児島レブナイズ	7	

## 「FIBA Asia Champions Cup 2019」でアルバルク東京が優勝！

～日本代表クラブとして初優勝の快挙～

2019年9月24日(火)から9月29日(日)の6日間、タイにて開催された、アジア No.1 クラブを決定する「FIBA Asia Champions Cup 2019」において、日本 (B. LEAGUE) 代表のアルバルク東京が、28代目チャンピオンとなった。

1981年に創設された本大会において、日本代表クラブとしては初の優勝を果たした。

また、大会MVPにはアルバルク東京アレックス・カーク選手が選ばれた。日本代表クラブから選出されるのは、昨年につき2人目の快挙である。

### アルバルク東京の戦績

#### <グループフェーズ>

- ・ 9月24日 ○ 85-65 ● Guangdong Southern Tigers (中国)
- ・ 9月25日 ● 75-77 ○ Al Riyadi (レバノン)
- ・ 9月26日 ○ 90-81 ● Hyundai Mobis (韓国)

#### <セミファイナル>

- ・ 9月28日 ○ 80-73 ● Naft Abadan (イラン)

#### <ファイナル>

- ・ 9月29日 ○ 98-74 ● Al Riyadi (レバノン)

## 第21回Wリーグ情報

[編集部]

### Wリーグ開幕貴社会見記念パーティー

創立21周年を迎えたバスケットボール女子日本リーグ(WJBL)は、開始1週間前の9月27日に第21回Wリーグ開幕記者会見および開幕記念パーティーを都内ホテルで開催した。



挨拶する斎藤会長

開幕記者会見は斎藤 聖美会長の主催者挨拶の後、木下 亮事務局長が第21回Wリーグ大会概要の説明を行った。その後、開幕対戦カードごとの代表選手が2名ずつ登壇し開幕戦への意気込を披露した。

開幕記念パーティーは、斎藤 聖美会長の主催者挨拶の後、日本バスケットボール協会、田中 道博事務総長による乾杯の後、長部 沙梨(トヨタ紡織)の功労賞表彰、JBAアンバサダー吉田 亜沙美(JX-ENEOS)の挨拶が行われた。また、デンカ株式会社 今井常務執行役によるWリーグオールスターの案内があり、最後に、佐藤 満明(トヨタ紡織)Wリーグ運営部会長による閉会の挨拶により和やかな記念パーティーが終了した。

Wリーグ公式応援アーティスト Jewel (J☆DeeZ を改名) によるスペシャルパフォーマンスで会場を盛り上げた。

### Wリーグオールスター2019-20 in TOKYO (2020年1月19日)

会場 東京都立川市 アリーナ立川立飛

試合開始時間 16:00



全チーム代表者

### Wリーグ開幕

WJBLは2019年10月4日の開幕試合を皮切りに優勝を目指し熱い戦いが始まった。競技形式は昨年の20回大会と同様に12チームによる2回戦総当たりのレギュラーシーズンとレギュラーシーズン上位8チームのプレーオフファイナルによる。JX-ENEOSが12連覇を達成するか、はたまた、どのチームがその連覇を阻止するかが注目される。

## 《レギュラーシーズン》

レギュラーシーズンは2019年10月4日を皮切りに2020年3月15日まで12チームによる2回戦総当たり方式で行う。(合計122試合、チームあたり22試合)

2019年11月、2020年2月は試合を休止し2020東京オリンピック代表活動を支援する。

## 《プレーオフ》

- ① セミクォーターファイナル(2020年3月21日、秋田県立体育館)
  - ・レギュラーシーズンの5位～8位のチームによる1戦先勝方式。
- ② クォーターファイナル(2020年3月22日、秋田県立体育館)
  - ・レギュラーシーズンの3位・4位のチームとセミクォーターファイナルの勝者2チームによる1戦先勝方式。
- ③ セミファイナル(2020年3月28日～2020年3月30日、大田区総合体育館)
  - ・レギュラーシーズン1位・2位のチームとクォーターファイナルの勝者2チームによる2戦先勝方式。
- ④ ファイナル(2020年4月4日～2020年4月6日、大田区総合体育館)
  - ・セミファイナルの勝者2チームによる2戦先勝方式

### ・2019年10月30日時点の順位。

- 1位：JX-Eneos (7勝1敗)
- 2位：トヨタ紡織 (7勝1敗)
- 3位：富士通 (6勝1敗)
- 4位：トヨタ自動車 (6勝2敗)
- 5位：デンソー (4勝2敗)
- 6位：アイシンAW (3勝3敗)
- 7位：日立HT (3勝4敗)
- 8位：東京羽田 (3勝5敗)
- 9位：山梨QB (2勝4敗)
- 10位：シャンソン化粧品 (1勝5敗)
- 11位：三菱電機 (1勝7敗)
- 12位：新潟 (0勝8敗)

注) 台風19号のためチームにより試合数が異なる。

台風19号により中止の代替試合は大田区総合体育館で下記期日に開催される。

### 12月28日(土)

- 第一試合 13:00 シャンソンーアイシンAW
- 第二試合 15:00 山梨QBーデンソー
- 第三試合 17:00 富士通ー日立HT

### 12月29日(日)

- 第一試合 13:00 シャンソンーアイシンAW
- 第二試合 15:00 山梨QBーデンソー

# JBA プレーコーリング・ガイドライン

[編集部]

JBAは去る8月1日に競技規則の抜粋ともいえる主題のガイドラインを発表したので、以下に主なところを紹介する。試合を観戦したり、審判を担当したりする際の参考にしていただきたい。

ガイドラインは、ファウル、バイオレーション、その他の3章からなり、主としてクリーンゲームを目指したものである。

## 第1章 ファウル

### 1. ファウルとは

#### (1) 基本的考え方

- ①ファウルには、触れ合いに対するファウル(NF)、アンスポーツマンライクファウル(UF)と、振る舞いに対するファウル(TF)、そして特に悪質でスポーツマンシップに反する行為(DQ:ファイティングを含む)がある
- ②NF/UFは5個で失格、そしてUF/TFはUF2個、TF2個、UF/TF各1個によって失格退場となる

#### (2) 触れ合いに対するファウル

##### ファウルの3原則 ① 触れ合いの事実

② 触れ合いの責任 リーガルガーディングポジション、シリンダー、etc

③ 影響 オフェンスのR(リズム)、S(スピード)、B(バランス)、Q(クイックネス)に影響のある触れ合い

#### (3) 振る舞いに対するファウル

振る舞い(コンタクトのあるタウンティングを含む)に対するファウルについて、審判は感情的になることなく、競技規則およびプレーコーリング・ガイドラインに則りシンプルに判定する必要がある。テクニカルファウルにおいて、特別に扱うということなく、起きた振る舞いに対して判定をする

### 2. イリーガルな手・腕・肘の整理(HAND-CHECKINGを含む)

#### (1) 基本的考え方

オフェンス・ディフェンスのどちらかに、不当に有利・不利が生じないようにする必要があり、プレイヤーのFOM(Freedom of Movement)を確保し、クリーンでスムーズなゲームを提供する

#### (2) ディフェンスのイリーガルな手・腕・肘(HAND-CHECKINGを含む)

- ①ボールを持っているプレイヤーに、両手を使う
- ②ボールを持っているプレイヤーに、片手でも肘が伸びた状態で触れ続ける
- ③ボールを持っているプレイヤーに、触れ続ける
- ④ボールを持っているプレイヤーに、短い時間であるが何回も触れる
- ⑤ポストディフェンスで、シリンダーを超えたアームバー
- ⑥オフェンスを手・腕・肘でロックし止める

⑦ピック&ロール等のスクリーンプレーで、スクリーナーに対してすり抜けるために手・腕・肘を使う

⑧ピック&ロール等のスクリーンプレーで、スクリーナーやユーザーの動きを妨げるため手・腕・肘を使う

### (3) オフェンスのイリーガルな手・腕・肘

①ボールを持ったプレーヤーがディフェンスを抜くために手・腕・肘を使って相手をロックし止める

②オフボールのオフェンス(ポストプレー含む)が、ディフェンスの身体に対し腕を巻いて抑える

③オフボールのオフェンス(ポストプレー含む)が、手・腕・肘を使ってディフェンスの腕を巻く

④オフボールのオフェンス(ポストプレー含む)が、スペースを作りボールをもらうためにシリンダーを越えた手・腕・肘でディフェンスをロックして止める

## 3. スクリーンプレー

### (1) リーガルスクリーン

リーガルスクリーンとは、1) スクリーナーが止まっていて、2) 両足が床についた状態で、3) シリンダー内で体の触れ合いが起こるプレーのことである

### (2) イリーガルスクリーン

①相手の動きにあわせて、動いてスクリーンをかける

②止まっている相手のうしろ(視野の外)でスクリーンの位置を占めスクリーンをかける

③動いている相手チームのプレーヤーの進路上に、相手が止まったり方向を変えたりして触れ合いを避けられるだけの距離をおかずにスクリーンの位置を占めスクリーンをかける

④シリンダーを越えた手・腕・肘、そして足・お尻等、身体の一部を不当に使ってスクリーンをかける

## 4. ブロッキング・チャージング

### (1) ブロッキング

①ボールを持っているかいないかに関わらず、相手チームのプレーヤーの進行を妨げるイリーガルな身体の触れ合い

②ボールを持っている(コントロール、ドリブル)相手チームのプレーヤーに対して、先にリーガルガーディングポジションを占めることができない状態で身体の触れ合いが起きた場合

③ボールを持っている相手チームのプレーヤーが、レイアップショット等でジャンプをするために最後のステップをした後に相手チームのプレーヤーが着地する場所で触れ合いが起きた場合

④ドライブ等でインパクトが大きい触れ合いが起きた場合、オフェンスに明らかな責任がない時はディフェンスのファウルである

### (2) チャージング

ボールを持っていてもいなくても、無理に進行して相手チームのプレーヤーのトルソー(胴体)に突き当たったり、押しのけたりする不当な身体の触れ合い

(3) 2人の審判が同じ触れ合いに関してそれぞれ別の角度からブロッキングとチャージングを同時に宣したプレー

事象の前後を決定することができないことから、クルー間でコミュニケーションをとり、「オフェンスに明らかな責任がない時はディフェンスのファウル」とする

5. プロテクトシューター

- ① オフェンス側プレーヤーがジャンプショットのため正当にジャンプした場合、着地場所を確保する権利がある
- ② オフェンス側プレーヤーがショットをする時、シリンダーを越えて必要以上に足や手などを広げ、リーガルなディフェンスに触れ合いを起こした場合はシューターのファウルとして判定する
- ③ オフェンス側プレーヤーがショットをした後、怪我をすることを避けるために必要に応じて倒れることはフェイクではない

6. アン스포ーツマンライクファウル (UF)

アン스포ーツマンライクファウルについては、下記(1)～(5)のクライテリア(条件)に該当した場合、試合中全ての時間帯で適用し、アクション(起きた事象)のみで判断する

- (1) 正当なバスケットボールのプレーと認められない、かつ、ボールに対するプレーでないと審判が判断したプレー
- (2) プレーヤーがボールにプレーしようとして正当に努力していたとしても、過度に激しい触れ合いと審判が判断したプレー
- (3) オフェンスが進行する中で、その進行を妨げることを目的としたディフェンスのプレーヤーによる必要のない触れ合いと審判が判断したプレー
- (4) 速攻に出ているオフェンスのプレーヤーとそのチームが攻めるバスケットの間にディフェンスのプレーヤーが全くいない状態で、その速攻を止めるためにディフェンスのプレーヤーが、そのオフェンスのプレーヤーの後方もしくは横から起こす触れ合いと審判が判断したプレー
- (5) 第4クォーターもしくは各延長残り2分の間で、ボールをアウトオブバウンズからスローインするときに、まだボールが審判もしくはスローインするプレーヤーの手にあるときに、コート上のディフェンスのプレーヤーが相手に起こした触れ合いと審判が判断したプレー

7. テクニカルファウル (TF)

- (1) ベンチおよびプレーヤーが審判、テーブルオフィシャルズ、相手チーム、自チーム観客に対して失礼な態度で接すること(ゲームを尊重する精神に反する振る舞い)
- (2) ゲームの進行を遅らせる行為(ディレイオブゲーム)

8. ディスクオリファイングファウル (DQ)

プレーヤーやベンチパーソネルによって行われる、特に悪質でスポーツマンシップに反する行為に対するファウル

- (1) アン스포ーツマンライクファウルからDQへのアップグレード対象

- ①通常のバスケットボールのプレーから逸脱して暴力行為と判断できるもの、または大きな怪我につながる危険な接触に関してはDQの対象とする
  - ②首から上、顔面・頭へ肘を使った過度に危険なコンタクト
  - ③空中にいるオフェンスプレーヤーに対して過度に危険なコンタクト
- (2) 著しくゲームを尊重すべきことに反する行為

## 9. ダブルファウル

### (1) ダブルファウルとは

両チームの2人のプレーヤーがほとんど同時に、互いにパーソナルファウルをした場合である

## 10. ファイティング

- ①暴力行為が起こった時や起こりそうな時にベンチエリアから飛び出してコートに入った場合など、その対象者にディスクォリファイングファウルが宣せられ失格・退場となる
- ②コーチとアシスタントコーチだけは審判に協力して争いを止める目的であればコートに入っても良い
- ③ファイティングによるディスクォリファイングファウルはチームファウルに数えない

## 11. フェイク

### (1) 基本的な考え方

オフェンス・ディフェンスともにファウルをされたようにみせかけ、ゲームに関係する人達を欺くプレーに対して罰則が明らかになった

### (2) フェイクに対する対応

- ①フェイクが起きた後、ボールデッドで時計が止まる前に、同じチームの選手が再びフェイクをした場合は、2回目のフェイクという理解でTFを適用する
- ②ノーコンタクトのフェイクは、あまりに過度なフェイクとして、ただちにTFを宣する。またそれに準ずる過度なフェイクもダイレクトテクニカルファウルの適用対象とする

## 第2章 バイオレーション

### 1. トラベリング

#### (1) 止まった状態でボールをコントロールしている場合

- ①ピボットフットが確立されたあと、明らかにピボットフットを踏みかえること(軸足の踏みかえ)
- ②明らかにピボットフットがずれること(軸足のずれ)
- ③ドリブルを始めるとき、明らかにピボットフットが床から離れた後にボールをリリースすること(突き出しの遅れ)

#### (2) 動きながら、足がフロアについた状態で、ボールをコントロールした場合

- ④動きながら、足がフロアについた状態で、ボールをコントロールした場合、フロアについている足は0歩目とし、その後2歩までステップを踏むことができる。その場合1歩目がピボットフットとなる

- ⑤上記④の場合、ドリブルを始めるときは2歩目の足をフロアにつける前にボールをリリースする必要がある
- ⑥ドリブルが終わる時も、上記④のステップが適用される
- ⑦上記④⑥の場合、連続して同じ足(左-左、右-右、両足-両足)を使うことはできない

**(3) 明らかに空中でボールをコントロールした場合**

- ⑧明らかに空中でボールをコントロールした場合、次にフロアについた足が、ピボットフットとなる

**(4) その他のケース**

- ⑨プレーヤーがボールを持ったままフロアに倒れたり、床に触れた勢いでボールを持ったまま床をすべること、あるいは横たわったり座ったりしているプレーヤーがボールを持つことはバイオレーションでないが、その後ディフェンスを避けるために転がったり、立ち上がることはトラベリングである
- ⑩ボールを持っているプレーヤーのピボットフットが決まった後に、さらに明らかにジャンプし、どちらかの足がフロアについてからショットまたはパスをすることはトラベリングである

**2. ボールの扱い方**

**(1) ボールは手であつかわなければならない**

- ①ボールをこぶしで叩いてはいけない
- ②故意に足または脚でボールを蹴ったり止めたりしてはならない。また、ボールを足で挟んでパスに見せかけることもバイオレーションである
- ③ボールが偶然に足やこぶしに当たったり触れたりすることはバイオレーションではない

**第3章 その他**

**1. IRS (インスタント・リプレーシステム)**

各種大会主催者によってIRSが設置され稼働が可能な状況において、以下の場合、審判は該当するケースを確認するためIRSを使用することが認められている

**[IRSを使用する場合の手順]**

- ①審判は判定を明確にコート上で示す
- ②審判は、上記①の判定において、確証がない場合、かつIRS適用の場合、IRSを使用する判断の権限を持つ。その場合、当該審判はIRSのジェスチャーを明確に示しクルーに伝える
- ③上記②において、ボールがデッドになったとき、IRS使用が必要と判断した当該審判はクルーチーフにその旨を明確に伝える

以上、頁数の関係から抜粋的な原稿となったが、詳細を知りたい方は振興会事務所までご連絡くだされば、担当がご説明します。

## 訃 報

鈴木 進吾 氏 令和元年10月10日 享年 76

長年にわたり、振興会会員として、日本バスケットボール界発展のため多大のご尽力を賜りました。

ここに、謹んで哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

### 鈴木進吾君を偲ぶ

鹿子木 雅



10月8日の15時15分頃、彼の入院している慶應病院3号棟616号室の病室をノックして入室しようとして愕然とした。病室を間違えたのかと思い、ナースセンターに戻り病室ナンバーを確認して間違っていないことを確かめた。それほどまでに半月前にお見舞いに伺った時と激変していたのである。じつは前の日の7日に慶應義塾大学バスケットボール部時代の同期の田島君から、電話で進吾君が終末期治療に入っていることを知らされ慌てて駆けつけた次第である。

病室に入りどう話をしようかと戸惑いを感じつつ進吾君に話しかけていた。

「進吾！君と初めてコートで会ったのは中学1年の秋、暁星と武蔵の練習ゲームでお互い1年坊主でゲームに初めて使ってもらい、何故かマッチアップしたよね。中学、高校と東京の強豪校同士で練習ゲーム、公式試合と数多くやったよね。慶應義塾大学では4年間一緒に頑張ったね。君のおかげで66歳になって、SOSのチームにも参加してバスケットを楽しみながらやらしてもらえたね。ありがとう！！ またどっかで同じユニホームを着てバスケットをしようね」

進吾君は息も絶え絶えながら「うれしい。ありがとう」とつぶやくように言ってくれた。涙がこぼれるのが抑えられず、進吾君の肩にそっと手を置き病室を出た。

病室を出ると進吾君の奥さまから「実はお医者様から、今日の夕方から明日の朝が山場だと言われました」とお聞きしたので「とにかく頑張ってくれることをお祈りします」と言い慶應病院を後にした。その後10月10日の夕方、奥さまから「今朝6時30分に安らかに旅立ちました」と電話でお知らせを頂いた。

進吾君とは慶應義塾大学体育會バスケットボール部で、4年間苦楽を共にしたわけであるが、大学運動部というのは何処の大学でも同じだと思うが、1年のうちの300日ぐらいいは練習コート、合宿、試合で一緒にいるのでお互いを見ているだけで、何がしたいのかわかるようになるものである。

特に我々の学年は、慶應義塾バスケットボール部始まって以来の入れ替え戦を経験した。現在では入れ替え戦は普通であるが、我々の時代は1部6校、2部6校の格差がものすごくあり、過去10年以上1部が2部に負けたことがない中での試合であった。2部の相手はインターハイ3連覇した付属高校からの入学者多数のチームで相当の強豪校であった。

その試合でも進吾君は我がチームのポイントガードとして冷静にプレーをして見事2勝1敗で勝ちきった。その時、1部校の全チームの部員が慶應の応援に駆けつけてくれたのも不思議な光景であった。そのような1部校の結束を2部の相手校はもとより、現在のバスケット関係者にも理解できない感覚ではなかろうか。

この関東1部6校の結束が還暦を迎える年に「青春の素晴らしきライバル達の集い」として某会社の接待寮に40人位集り昔話に花を咲かせることが出来た。

それがベースとなり6年後、進吾君とその他数名の方が、音頭を取りゴールデンシニアバスケットボールに挑戦しようということで「STARS OF STARS」を立ち上げてくれた。バスケットボールを通じ青春時代の熱き血をよみがえらせてくれたことに感謝である。

もっとも他のシルバーチームからは「勝」にこだわるSOSのチームカラーに違和感を持つ人がいることも承知しているが、当時の関東1部6校が他を寄せ付けない強さの源泉は、勝負へのこだわり、ルーズボール、リバンド等への球際の強さから生まれたものだったのだと思う。その気持ちしが現在のSOSにそのまま引き継がれているのだろう。

2015年の秋口より進吾君は背中が痛いと言っていたが、SOSの試合は欠かさず見に来てくれていた。しかし、翌年の1月に、御茶ノ水の三楽病院に入院したということを知り、見舞いに行ったら「骨髄腫」という病名でこの病院には専門医がいないとのことだったので慶應病院の先生を紹介した。(先生は僕と同期で武蔵時代バスケットボールの名プレーヤーで元慶応大学医学部長でもあり、中学・高校時代進吾君とも一緒に試合をした仲間でもある)

慶應病院では進吾君の担当医も元医学部長の紹介ということもあり大変大事に治療をしてくれて、また介護士も、バスケットボール経験者が担当してくれたりしていたので快適な入院生活であったと聞いている。

治療の効果でSOSコーチにも返り咲き、元気になりつつあったが残念ながら腎臓への負担が強くなり、今年の8月中旬より再度慶應病院に入院してそのまま旅立っていった。

慶應病院の医療関係者の方々が進吾君に対し優しく、暖かく、惜しみない治療をして下さったことへ大変感謝し心よりお礼を申し上げたい。

進吾君安らかに休んでください。そして、僕がそちらに行った時には、もう一度同じチームのユニホームを着てバスケットボールをやりましょう。合掌

## 鈴木進吾さん を偲んで

篠原 正邦

鈴木進吾さん(以後「進吾さん」と呼びます)との出会いは、今から遡ること凡そ60年前になります。進吾さんは慶応義塾大学、私は立教大学で、関東六大学リーグのライバルチームに所属する間柄でした。そのためか、試合場では会っても挨拶を交わす程度で、これといった会話をした記憶がありません。



しかし、大学を卒業して40年近く過ぎ、再会しました。それは、当時リーグ戦を戦った同期の還暦祝いの会合の時でした。その時の進吾さんの「このメンバーでもう一度バスケットボールをやりたいな…」の言葉が鮮明に記憶に残っています。それから、凡そ6年の年月が過ぎ、そのことがやっと実現しました。進吾さん等が発起人となり、2010年に「STARS OF STARS」と言うシニアバスケットボールのチームが立ち上げられました。

私は進吾さん程の「バスケットボール好き」には未だ嘗て会ったことがありません。進吾さんは父君から受け継いだ会社の経営の傍ら、母校の暁星中学校のバスケットボール部の指導と、併せて、自らが主宰するシニアバスケットボールチーム「NAISMITH CLUB EAGLES」の運営。それに加えて、自らが立ち上げた「STARS OF STARS」の練習場所の確保や対戦試合の開拓と、それは八面六臂の活躍でした。それを見ていると頭が下がる思いでした。

2011年から「STARS OF STARS」で3年ほど主力選手として活躍後、2014年の日本バスケットボール振興会主催の「シニアバスケットボール交歓大会 in YOYOGI」で、大会初の試みの70歳以上のプラチナ戦で復活しています。

その後、体調を崩されて、2016年から2017年間の約1年間の闘病生活を送られましたが、2018年には「STARS OF STARS」のヘッドコーチとして再び咲かれました。体調のこともあり、当初は若干遠慮勝ちでしたが、今から思えば、進吾さんも「ご自身のバスケットボール生活の集大成」との御積りか、快く引き受けて頂きました。

ヘッドコーチを引き受けるに当たり、進吾さんは過去何年間も撮り貯めたチームの試合のビデオを具に研究され、「目から鱗」のシニアバスケットボールならではの戦法を考案されました。その戦法を更に練習コートで改良と磨きをかけ、チーム全体に浸透させる姿は、まさに鬼気迫る様相でした。その結果、進吾さんが率いる「STARS OF STARS」の2018年の成績は15戦14勝1敗で勝率はなんと、93.3%でした。

この成績を引っ提げて当然本年も続投をお願いしましたが、ご自分が経営する会社を整理することと、趣味の域を通り越し「ライフワーク」として研究していた「お江戸ののれん」の出版のために時間が必要と固辞されたので、諦めることとした次第です。

その進吾さんが今年に入って再入院し、帰らぬ人になってしまいました。

進吾さんのサウスポーのロングシュートも、互いに熱く交わしたバスケット談義も再び出来ないと思うと、大きな空虚感と脱力感が襲ってきます。

今はただ只管、ご冥福をお祈りするばかりです。 合掌



「お江戸ののれん」表紙

#### ※追記

「お江戸ののれん」は柘植書房新社より、10月29日に発刊されました。(¥2,200) また、2020東京オリンピックに間に合うように氏のお嬢様が英語版の準備をされています。

# 事務局だより

[総務部]

## ◇ 会費納入のお願い

振興会は会員の皆さんの会費によって運営されております。  
早めの納入に、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 振込み口座番号

ゆうちょ銀行

00100-3-316035

NPO法人日本バスケットボール振興会

三菱UFJ銀行

神保町支店 普通預金口座 1684743

特定非営利活動法人日本バスケットボール振興会

みずほ銀行

丸の内中央支店 普通預金口座 1004687

特定非営利活動法人日本バスケットボール振興会

## ◇ 都道府県協会の皆様へ

「バスケットボールプラザ」発行費用一部ご負担をお願いしたところ、複数の協会から協力のお申し出がありました。ご支援を頂きましてありがとうございます。

新たにご協力を頂けます際には、発行費用の一部ご負担金は、年額 2000 円ですので、ご了承の節には上記取引金融機関にお振り込みをお願い申し上げます。

また、都道府県大会などにおける試合の結果や、イベント報告など告知したい事柄がありましたら、事務局へお知らせください。その際には都道府県の頁を設けて、積極的に掲載させていただきます。

- ◇ 去る10月、能代市企画部部長さんと企画部の市民活力推進課地域づくり支援係で担当のお二人が、島本和彦さん同行で、事務所を来訪されました。能代市 50,000 人の人口が毎年 1,000 人程度減少しているとのこと。「バスケットボール」で市の活力を図るべくいろいろと協力していただきたい旨の申し入れがありました。振興会で保管しているプログラムなど重複している資料を「能代バスケットボールミュージアム」に寄贈することとしました。また、能代市の体育館を活用してシニア大会などの企画が出来ないかなどと提案をいただきました。

## プラザ こぼればなし

- ◇ 男子日本代表が 2019 ワールドカップに参戦し、全敗して 32 チーム中 31 位に終わった。F I B Aはこの結果を踏まえ、9 月 16 日に新たな世界ランキングを発表した。日本は、ワールドカップの成績により 10 位上がって、48 位から 38 位となったが、ファジーカス選手と八村選手の参加により世界ランクの 20 位程度の実力を有すると思われる。来年の東京オリンピックでその実力が発揮できることを期待したい。
- ◇ 先日の台風 15 号により千葉県各地で甚大な被害が発生し、長期停電と断水が続き地域住民は避難生活を余儀なくされた。そんな中、千葉県に本拠を置く船橋ジェッツが、被災したリーグ戦開催地に対して、いち早く車で水や食料などを届けて回った。固定電話の不通、携帯電話の不通、鉄道の不通も加わって孤立状態に陥った被災地に対する暖かい支援は素晴らしく、これからの観客動員にも好影響をもたらすであろう。
- ◇ N B Aが開幕したが、八村選手が日本人として初めてとなるウィザーズのスタートメンバーとして出場し、得点とリバウンドで 2 桁となるダブルダブルをやったのけた。まだ新人なので相手のマークも少々甘いようだが、N B Aの研究はすさまじいものがあるので先行きどうなるか注目したい。
- ◇ 日本開催のラグビーワールドカップが大盛況に終わった。180 万人を超える観客動員数は新記録であり、日本とスコットランド戦の瞬間テレビ視聴率 54% も大変な記録である。新設されたファンゾーンにも 100 万人のファンが押し掛けたように、やはり日本チームがそれなりに活躍すればすべてが良くなるといった見本を見せつけられた。バスケットボール日本代表チームの今後の活躍に期待したい。
- ◇ N H K大河ドラマ「いだてん～東京オリンピック囁～」で主人公の田畑政治を演じる、役者の阿部サダオが実物にそっくりだと生前の本人を知る人たちが驚いている。「(阿部と田畑の) 顔がまず似ている・・・」(2019>9.14 朝日新聞夕刊) などと語っている佐藤鉄太郎さん(81)は、当時の組織委員会と日本バスケットボール協会の橋渡し役であった。鉄太郎さんは、協会役員の中で「テッチャン、テッチャン」と親しまれ、バスケットボール競技の運営を成功させた大功労者で、東京オリンピック報告書では「協会の大恩人」と称されている。
- ◇ 先日亡くなられた手嶋昇氏のご遺族から、このほど所蔵していた書籍などを振興会に頂いた。その中に「BASKET BALL AND INDOOR BASEBALL FOR WOMEN」という主題の書籍があり、バスケットボールの名称が、当初「BASKET BALL」と表記されていたことが確認された。1921 年からは「BASKETBALL」と一語で表記されるようになっている。

---

NPO法人  
日本バスケットボール振興会  
〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町1-40  
豊明ビル 301号室  
電話／FAX (03) 3219-9311  
メール [contact@jbbs.jp](mailto:contact@jbbs.jp)

---